

日の出処分場周辺水質一斉調査 2020年11月2日～3日

2021年3月たまあじさいの会お知らせより

今年度の水質調査はコロナ対策として、前日に9カ所の調査地点の採水と電気伝導度の測定をしておき、11月3日はパックテストによるPH・塩化物イオン・CODの測定を竹林舎で行いました。参加者は延べ11人でした。

調査ポイントとポイントの特色

日の出側水質調査ポイント

白倉入沢：ニッ塚処分場西隣接地（電気伝導度を高める石灰岩あり）

志茂下：処分場から漏れ出している処分場南隣接地

志茂甕：処分場から漏れ出している処分場南隣接地よりの湧き水

相沢沖：ニッ塚処分場汚泥貯留池

相沢沖下：ニッ塚処分場汚泥貯留池から玉の内川への水路

玉の内川合流：相沢沖下と玉の内川の合流点

谷戸川合流：平井川と谷戸川との合流点

谷戸沢調整池：浸出水と地下水と雨水が混ざり合っている。

谷戸沢 清流：この辺の地下水流は西南方向に流れている。この地点は処分場の影響がほとんどないと思われる。



パックテストによる調査結果 2020年11月3日

検査項目	白倉入沢	志茂下	志茂甕	相沢沖	相沢沖下	玉の内川合流	谷戸川合流	谷戸沢調整池	谷戸沢清流
電気伝導度(μS/cm)	231	408	442	838	520	360	222	224	43
塩化物イオン濃度(mg/L)	2	0	10	50以上	50以上	3	50以上	0	0
COD(mg/L)	2	2	2	2	4	2	4	4	4
ph	7.5	7.0	8.0	8.5	8.5	8.5	9.5	8.5	7.0
水温	13.7	16.1	13.2	12.5	14.5	15	17.3	14	13

日の出処分場に関わる青梅市と日の出町の電気伝導度の比較

電気伝導度:水質の汚染度を電気導通の高低で判別する

2020年11月に行われた調査の、日出処分場各ポイントの電気伝導度と、2020年10月、青梅の水質調査を長年行っているグループが測定した、青梅側ニッ塚処分場周辺の電気伝導度と比較したものが下のグラフです。日の出処分場から浸出した汚水による日の出町の水質の状況が明らかにわかると思えます。



